

## 研究実施のお知らせ

研究課題名：橈骨遠位端骨折手術における全身麻酔と腕神経叢ブロックの周術期利点の比較検討

研究期間：倫理審査委員会承認後～2025年12月31日

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

### 【研究の対象となる方】

2014年11月～2025年12月に橈骨遠位端骨折に対し全身麻酔もしくは腕神経叢ブロックで観血的整復固定術をうけた方

### 【研究の目的と意義】

橈骨遠位端骨折は全身麻酔もしくは腕神経叢ブロック下に観血的整復固定術が行われます。どちらの麻酔法にも良い点があり、どちらの麻酔法でも手術を行うことができます。今回、それぞれの麻酔法で手術をされた方の詳しい情報を調べさせていただき、どのような方がどちらの麻酔法の利点を活かすことができるのか調べさせていただきたいと思っております。

### 【研究の方法】

患者様の診療録等の診療情報を用いて、集計、単純な統計処理等を行う後ろ向き研究です。

### 【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報（年齢、性別、合併症、骨折タイプ、術後疼痛スケール、術後鎮痛薬使用量と頻度、術後疼痛ピーク時間、術後嘔気、術後意識レベル、麻酔所要時間、手術室滞在時間、術後患肢の運動麻痺、術後患肢の感覚麻痺、術後入院期間、看護師の麻酔法に対する評価など）研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報等を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

### 【研究の実施体制】

研究責任者：仙台市立病院 麻酔科 医長 安達厚子

共同研究者：仙台市立病院 麻酔科 部長 安藤幸吉

### 【お問い合わせ先】

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が学会発表・論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できません。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

仙台市立病院 麻酔科

研究責任者 安達厚子

麻酔科部長 安藤幸吉

仙台市太白区あすと長町一丁目 1 番 1 号

電話：022-308-7111（代表）